美容領域における2017年予測



+ビューティー、+ファッション、+カルチャー・・・ +aの付加価値を提供する理容室 = 「バーバー」が増加の兆し!



ノバーノバー新時代



(ばーばーしんじだい)

"近所のおじさんが集い、スポーツ談義に花を咲かせながら、ヒゲを剃ってもらう・・・" 昔の理容室には、そんな風景がありました。

時が流れ、街には美容室がどんどん増え、「男性も美容室」の時代を迎えました。

一方で最近、通っていた美容室から理容室に戻る男性も。 そこには、料金に加え、

「顏剃りがしたい」「美容室はおしゃれ過ぎる」といった理由も関係しているようです。

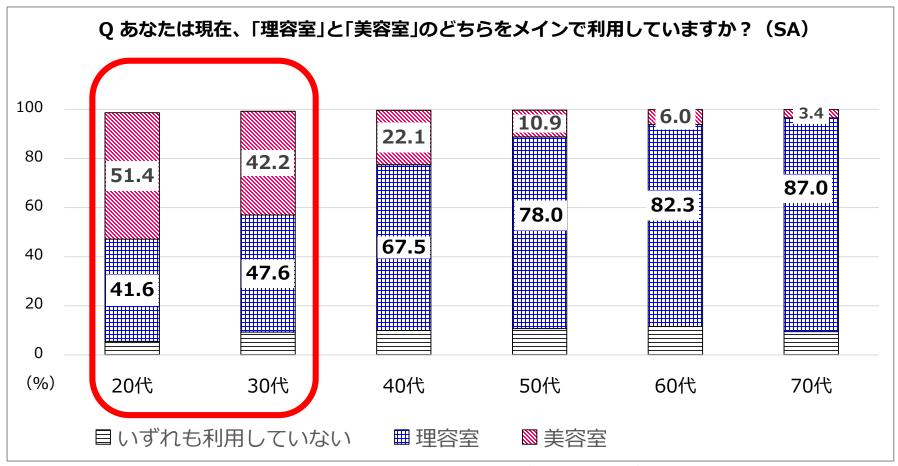
そんな男性の潜在ニーズに応えて、今、旧来の理容室に+gの付加価値を加えた 「バーバー」と呼ばれる新しいタイプの理容室が増加しています。

> これから、男性のニーズの顕在化とともに、 街には、「バーバー」がますます増えそうです。

なぜ今「バーバー」? ~男性の「理容室」「美容室」利用実態①



昔は、男性は主に「理容室」、女性は主に「美容室」だった。 今は、若い世代を中心に「男性も美容室」の時代に。

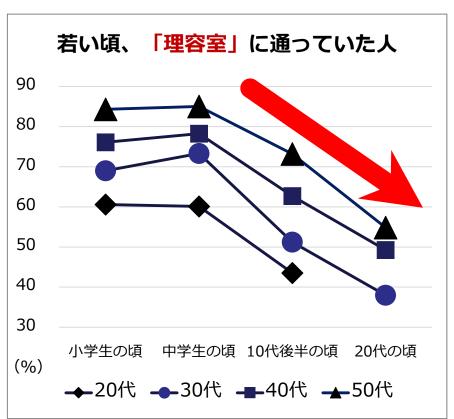


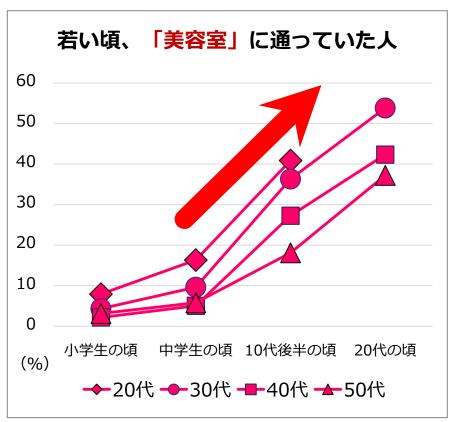
出典:ホットペッパービューティーアカデミー「男性の理容室・美容室実態調査」 (20~79歳男性、N=10,000) 2016年10月

なぜ今「バーバー」? ~男性の「理容室」「美容室」利用実態②



男性の「理容室」「美容室」の利用変遷をみると、中学生の頃までは多くの人が「理容室」に通うが、10代後半から「美容室」派が増加する。



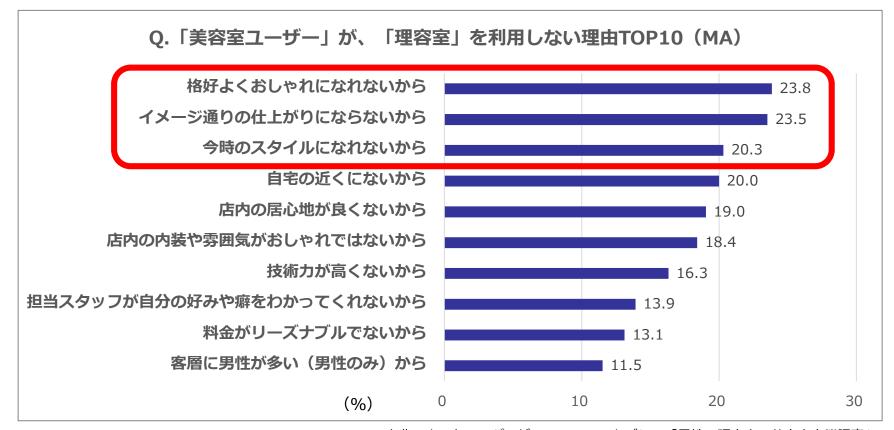


出典: ホットペッパービューティーアカデミー「男性の理容室・美容室実態調査」 (20~59歳男性、N=1,664) 2016年10月

なぜ今「バーバー」? ~男性が「美容室」に通い始める理由①



男性が「理容室」を利用しない理由は、「おしゃれになれない」「イメージ通りの仕上がりにならない」 「今時のスタイルになれない」など スタイル・デザインの要素がTOP3。

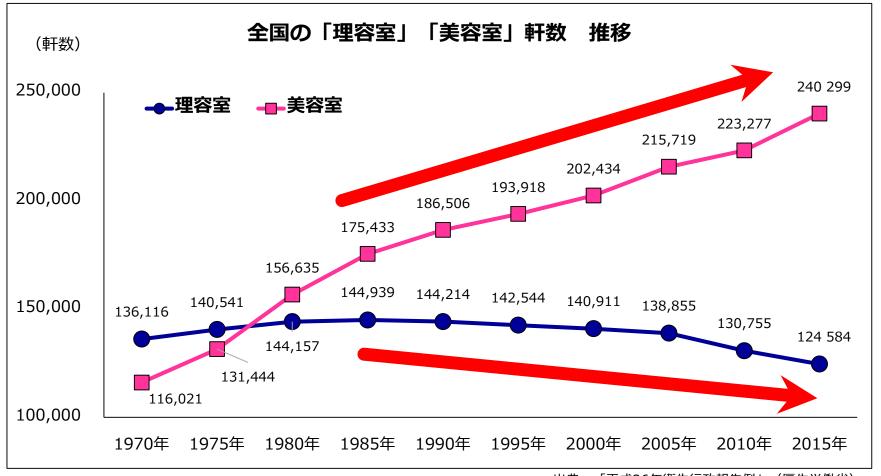


出典:ホットペッパービューティーアカデミー「男性の理容室・美容室実態調査」 (20~49歳男性、N=625 ※現「美容室」ユーザー) 2016年10月

なぜ今「バーバー」? ~男性が「美容室」に通い始める理由② RECRU



1980年以降、「美容室」は増加し続け、 現在は、「美容室」が「理容室」の約1.9倍の軒数となっている。



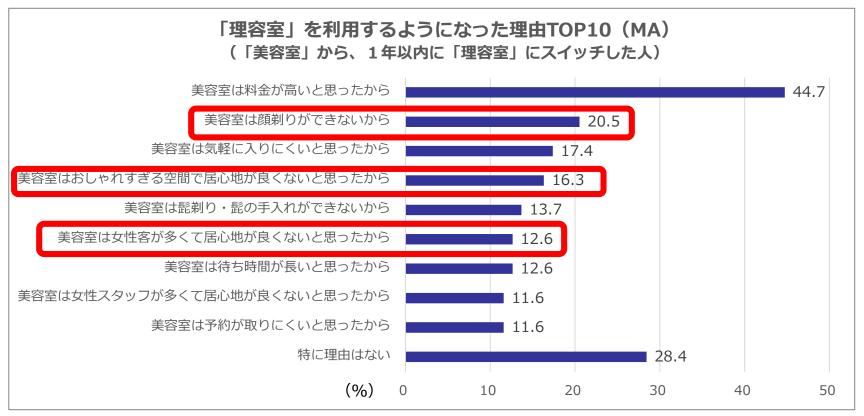
出典:「平成26年衛牛行政報告例」 (厚牛労働省)

なぜ今「バーバー」? ~男性が「理容室」に戻る理由



「美容室」に通っていた男性が、「理容室」にスイッチすることも。 理由は「料金」が1位だが、

「顔剃りができない」「おしゃれ過ぎる」 「女性が多くて居心地が良くない」などの理由も。



出典: ホットペッパービューティーアカデミー「男性の理容室・美容室実態調査」 (20~49歳男性、N=190) 2016年10月



ビューティー、ファッション、こだわりのカルチャーなど 新しい付加価値をもつ理容室 = 「バーバー」が 街に増加しつつある!





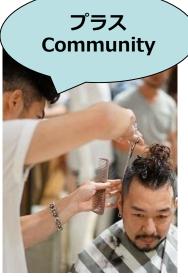










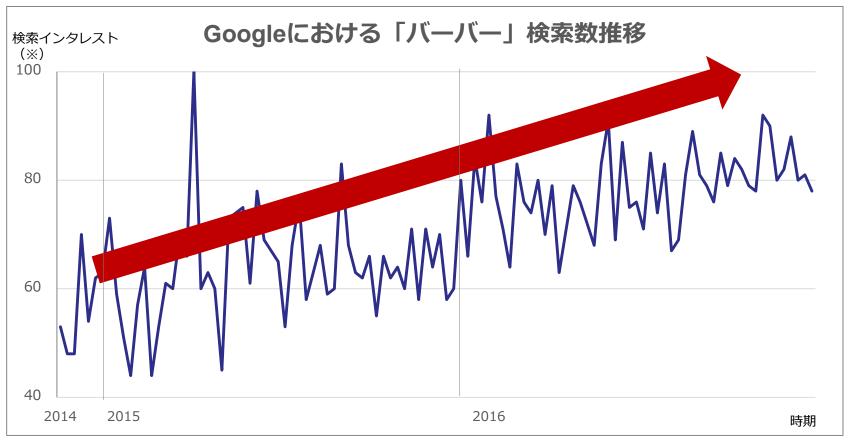




なぜ今「バーバー」? ~カスタマーの興味も向上



「バーバー」の検索キーワードも徐々に増加しており、 カスタマーの関心も高くなってきている。



出典:グーグルトレンド

※「検索インタレスト」・・・・・(各時点の検索ボリューム÷検索ボリュームの最大値)×100。 検索ボリュームが最も高い地点を100とした場合の、各時期の相対的な検索ボリュームを示している。 上記グラフでは2015年3月が100。検索実数は非公表。

なぜ今「バーバー」? ~「バーバー」に通い始めた男性たち① RECRU



子どもの頃に通ってたのは?

小学生頃から**父親に連れられ近所の理容室**に 行くようになり、中学生まで通っていた。 カウンセリングはなくて、**座るといつものよう** に切られる。メニューも特になかった。 流行りの髪型にしたかったが「まだ早い よ」と一蹴された記憶がある…。

「美容室」に変えた理由は? 中学の時に友達から「まだ理容 室行ってんのかよ」と言われ、 流行りのパーマやカラーもしたくなっ て、家から少し離れた美容室へ。

「バーバー」に 変えた理由は? 30代になって若い女性が 多い美容室にアウェイ感 を感じたことと、 「シェービング」を

受けたくなってきた。



43歳 男性 商品企画 さいたま市在住 既婚・子どもあり

「バーバー」の良さは?

客もスタッフも男性中心。

男性が行っていいところなので 落ち着く。半個室で施術中に移動しな くていいし、カットやシェービングはも ちろん、**ネイルケアやフェイシャ** ルもやってくれるので、嬉しい。

なぜ今「バーバー」? ~「バーバー」に通い始めた男性たち② RECRU



昔の「理容室」はどんな場所だった?

中学まで通っていたのは、

住宅の軒先にある家族経営の理容室。 近所のおじさんが通っていて、 客同士もみんな顔見知り。

大人たちがたばこを吸いながら、地元の話で盛り 上がってた。そんな大人の隣で漫画を読んで順番 を待っていた。

はじめての「美容室」は?

高校生になって**校則もゆるくなり、周** りもおしゃれに。初めての美容室は 刺激的だった。きれいなお姉さんがカウン セリングしてくれるし、飲み物が出てくる し、シャンプーは上向き・・・。 当時は美容室に通うこと自体が ステイタスだった。

「バーバー」に 変えた理由は?

きらきらした**おしゃれな空間** に居心地の悪さを感じ始め た。美容室は元々女性の場 所という印象が強い。会社の近 所におしゃれなバーバーができて いて、行ってみたらはまった。



36歳 男性 システムエンジニア 港区在住 既婚

「バーバー」の良さは?

刈り上げやツーブロックなどの**短髪へ** アが上手いし、メニューや商品が全 て男性用。空間もおしゃれ。

美容室のおしゃれな部分と、 理容室のヒゲ剃りや落ち着く 部分を、いいとこ取りした感じ。

+aの付加価値を持った「バーバー」事例①



ROYAL MAN GROOMING(ロイヤルマン グルーミング)

プラス Beauty

ネイルやフェイシャルパックなど美容メニューが充実。 関西の経営者やビジネスマンに愛されるバーバー。

- ・大阪を中心に約30店舗を展開する(株)ロイヤルのメンズバーバーショップ。
- ・店内は暗めの間接照明にジャズが流れ、店舗内ではスリッパに履き替える。 忙しいビジネスパーソンが、ゆったりくつろげる雰囲気。
- ・カット・シェービングに加え、ネイルやフェイシャルマッサージなどの美容メニューも。

【主なメニュー】

- ▶ロイヤルセット(カット/シェービング/マッサージ)
- ▶エステシェービング
- ▶ヘッドキュア
- ▶ネイルケア

(税抜)

5,000円 2,500円

5,000円

,0001

3,000円









+aの付加価値を持った「バーバー」事例②



THE BARBER(ザ・バーバー)

プラス Beauty

半個室で、移動なしでサービスを受けられる!大人の男性のために 特化したカット、癒しメニューが満載なラグジュアリーバーバー。

- ・渋谷、広尾、銀座など東京都内に7店舗。
- ·半個室。一度座ると移動なしで全てのサービスが受けられる。脱いだ靴は磨いてくれる。
- ・フェイストリートメントやシャンプー+ヘッドスパなどのオプションメニューも充実。
- ・AVシステムを備えた個室がある店舗あり、大型スクリーンで映像を楽しめる。

【主なメニュー】

(税抜)

- ▶PREMIUM COURSE(カット/ヘッドスパ/シェービング/フェイスマッサージ)17,000円
- ▶LUXURY CLASS1(カット/ヘッドスパ/シェービング) 9,000円
- ▶SHASPA(シャンプー/ヘッドスパ)

5,000円











+aの付加価値を持った「バーバー」事例③



BARNEYS BARBER'S SHOP by KAMISORI CLUB 148 (バーニーズバーバーズショップ バイ カミソリクラブ イチヨンハチ)

プラス Fashion

「バーニーズ ニューヨーク」内にあるヒゲにこだわるバーバー。 ファッションの提案やシューリペアもありトータルの身だしなみを提案。

- 「バーニーズ ニューヨーク横浜店」のフロアの一角にあるバーバー。
- ・店内にはビンテージバーバーグッズが多数あり、チェアも年代もの。
- カミソリメーカー「カミソリ倶楽部」が運営しており、ヒゲデザインにこだわりを持つ。

【主なメニュー】	(税抜)
▶カット	6,000円
▶シェービング	3,500円
▶カット+ヒゲデザイン	11,300円~
▶ヒゲオーダーコース	5,500円~











+aの付加価値を持った「バーバー」事例④



FREEMANS SPORTING CLUB(フリーマンズ スポーティング クラブ)

プラス Fashion

スポーツカジュアル、テーラー、バー、バーバーがひとつに。 30~40代のファッショニスタが多く集まるカジュアルなバーバー。

- ・表参道、二子玉川に2店舗を展開。
- ・地下にレストランバー、1Fはスポーツカジュアル、2Fにテーラー、3Fにバーバーがある。
- ・地下のバーのドリンクをバーバーで飲むことも可能。

【主なメニュー】	(税抜)
▶カット	4,000円
▶カット+シェービング	7,000円
▶シェービング	3,000円











+aの付加価値を持った「バーバー」事例⑤



THE BARBA TOKYO (ザ・バルバ・トウキョウ)

プラス Culture

本物志向のアーリーアメリカンカルチャーと、こだわりの技術が体験できる!日本の理容文化を継承する神田のバーバー。

- ・神田に2店舗。
- ・コンセプトは「MAN CAVE (男の隠れ家)」。
- ・幼い頃からアメリカのバイクやビンテージカーなどのカルチャーを追いかけてきた オーナーこだわりの、古き良きアメリカを彷彿とさせる店内。

【主なメニュー】	(税抜)
▶カット	4,000円
▶カット+シェービング	5,000円
▶フェードカット	+500円
▶アイロンパーマ	4,000円~











+aの付加価値を持った「バーバー」事例⑥



barbershop KING (バーバーショップ キング)

プラス Culture

こだわりのアメリカンカルチャーとオーナーの素朴な人柄に、 遠方からもファンが集まるハード系バーバー。

- ・1999年オープン、世田谷区下馬に1店舗。
- ・全国のバーバーから孤高の存在として一目置かれるオーナーの武骨な人柄が人気。
- ・店前に止められたバイクや、アンティーク雑貨にアメリカンカルチャーを感じるバーバー。

 【主なメニュー】	 (税込)
▶カット&シェービング	5,200円
▶カット	4,500円
▶坊主(総バリカン)	4,000円











+aの付加価値を持った「バーバー」事例②



MERICAN BARBERSHOP(メリケンバーバーショップ)

プラス Community

NYのバーバーカルチャーに日本独自の良さをミックス。 クラフトビールや本格コーヒーも提供する「オトコの社交場」を目指すバーバー。

- ・神戸・元町に2012年にオープン。
- ・店内では、**1杯ずつ入れるドリップコーヒーや1,000円でクラフトビール**も提供。
- ・不定期で客同士が交流する**オフイベント**も開催し、「**大人のオトコの社交場」**を目指す。
- ・2017年春、都内に本格的バーを併設した新店舗をオープン予定。

(税抜)
5,000円
3,000円
1,000円











美容領域における2017年予測



+ビューティー、+ファッション、+カルチャー・・・ +aの付加価値を提供する理容室 = 「バーバー」が増加の兆し!



ノバーノバー新時代



(ばーばーしんじだい)

"近所のおじさんが集い、スポーツ談義に花を咲かせながら、ヒゲを剃ってもらう・・・" 昔の理容室には、そんな風景がありました。

時が流れ、街には美容室がどんどん増え、「男性も美容室」の時代を迎えました。

一方で最近、通っていた美容室から理容室に戻る男性も。 そこには、料金に加え、

「顏剃りがしたい」「美容室はおしゃれ過ぎる」といった理由も関係しているようです。

そんな男性の潜在ニーズに応えて、今、旧来の理容室に+gの付加価値を加えた 「バーバー」と呼ばれる新しいタイプの理容室が増加しています。

> これから、男性のニーズの顕在化とともに、 街には、「バーバー」がますます増えそうです。